

複合型施設整備計画

福祉施設×商業施設×公共交通ターミナル×公共駐車場

企画課

今回は、「施設基本計画素案の概要」をお知らせします。



小諸市では、生活に欠かすことのできない施設を中心市街地へ集積し、さらに中心市街地を含めた各地域を結ぶ公共交通ネットワークを強化する「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の形成に取り組み、一度の外出で様々な日常の用事を済ませることができることなどの「利便性の高いまちづくり」を進めています。

そして一時休業したスーパーツルヤ小諸店様（相生町）を中心としたエリア一帯で、福祉施設、商業施設、公共交通ターミナル、公共駐車場からなる「複合型中心拠点誘導施設基本計画」の策定を進めてきました。

▶複合化する各種機能

| | | | |
|--|---|--|---|
| <p>高齢者福祉センター</p> <p>入浴、介護予防教室、趣味の講座等の事業をはじめとした高齢者の生きがいづくり支援を行います。現施設である「糠塚園」は、年間2万人の方にご利用いただいているものの、老朽化が課題となっています。なお、施設の利用は、60歳以上の方を対象としています。</p> | <p>ボランティアセンター</p> <p>ボランティアの皆さんの活動拠点として、登録や紹介、マッチングなどの手続きのほか、ボランティア同士の交流活動も行います。現施設では、年間6千人の方が利用し、登録者は個人が241人、団体が211団体です。</p> | <p>ファミリーサポートセンター</p> <p>子育ての手助けを希望する方と担っていただける方の双方が会員となり、育児について助け合う会員組織を運営します。施設では会員登録の受付や会員同士の相互援助活動の調整を行います。現在、県内19市のうち、小諸市のみが未設置の状況です。</p> | <p>病児・病後児保育</p> <p>病気の治療中又は回復期にあり、集団保育が適当でなく、保護者のやむを得ない事情により家庭での保育ができない児童を専用の保育室で看護師・保育士等がお預かりする仕組みです。現在は、市外の施設に委託しています。1日6人程度の利用を見込みます。</p> |
| <p>多世代交流スペース</p> <p>福祉施設の利用者だけでなく、様々な皆さんにご利用いただける交流スペースです。「こもろ愛のりくん」の待合室も兼ねます。また、各機能と連携を図りイベントの開催など多様な利用ができる場とします。</p> | <p>愛のりくんコールセンター</p> <p>「こもろ愛のりくん」は、市内5地区に分け、コールセンターを起点に「上り便」と「下り便」を設けて運行しています。コールセンターでは、利用に必要な会員登録及び乗車手配の手続きも行います。年間5万人以上の方が利用しています。</p> | <p>公共駐車場</p> <p>駐車台数130台程度を整備し、場内は相互通行とするほか、歩行者通路も確保します。なお、整備台数以上の需要については、隣接する駐車場の活用を行います。</p> | <p>スーパーマーケット</p> <p>生鮮食料品をはじめとした身の回り品を扱うスーパーマーケットをテナント事業として実施します。売り場面積は、休業したツルヤ小諸店様の売り場面積の2倍となる2,000㎡程度を予定しています。</p> |

▶事業規模

約26億円から約28億円までの事業規模を想定。財源については国の交付金やテナント料を予定。

| 概算事業費 | | 財源 | |
|-----------|-----------------------------------|-----------|-----------------------------------|
| 施設整備費 | 23億6,000万円～ 25億4,000万円 | 国からの交付金 | 5億1,000万円～ 5億5,000円 |
| (うち商業施設) | (6億9,000万円～ 7億9,000万円) | 市債(借入金) | 10億4,000万円～ 11億4,000万円 |
| 道路整備費 | 2億5,000万円 | 市費 | 10億6,000万円～ 11億円 |
| 合計 | 26億1,000万円～ 27億9,000万円 | 合計 | 26億1,000万円～ 27億9,000万円 |

商業テナントについては、商業施設分の整備費用のほか、駐車場使用料や施設の修繕料も加味したテナント料を設定し、途中解除のない20年間以上のテナント契約とします。